

東峰村社協だより

第104号
令和6年1月15日号
東峰村社会福祉協議会
事務局（喜楽来館内）
☎ 0946-74-2012



新春のごあいさつ

社会福祉法人 東峰村社会福祉協議会

会長 岩田 渉

新年あけましておめでとうございます。村民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げますと共に、旧年中は本会の諸事業に対し、深いご理解とご協力を賜り心より感謝申し上げます。さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の5類移行など通常活動も戻りつつある中、7月7日から10日にかけての記録的な大雨により、6年前の平成29年豪雨に匹敵する甚大な被害を受けました。被災された皆様には、改めてお見舞い申し上げますと共に、本年こそ、良い年になられますよう、心よりお祈り申し上げます。本会としても、村から協定に基づき、社協に災害ボランティアセンターの設置要請があったことから、近隣市町の社会福祉協議会の協力をいただき、「東峰村災害ボランティアセンター」を喜楽来館に開設し、ボランティア活動を開始しました。活動当初より、村外から多くのボランティアの皆様、企業様、団体様等の支援を受け対応出来たことに、紙面をお借りしまして御礼申し上げます。

さて今年「村民がつながり、支え合い、安心して暮らせる東峰村」を基本理念とした地域福祉活動計画の2年目となりますので、住民、地域、行政、社協が一体となって「地域共生社会」の実現に向け取り組みます。本年も役員一同、引き続き村民の皆様のご信頼や期待にお応えするため、更なる努力を続けて参りますので、より一層のご支援・ご協力を心からお願ひ申し上げますと共に、村民の皆様方におかれましては、この一年が幸多き年になりますよう心からお祈り申し上げます。新春のご挨拶といたします。

寄付金

令和5年11月11日より令和6年1月12日までの間に、次の方々よりご寄付をいただきました。深く感謝申し上げます。

◎香典返し寄付

- ・岩屋地区 栗木野 井上 豊己様 (故 照夫様)
- ・竹地区 竹の上 坂井 順子様 (故 梶原源吾様)
- ・中原地区 一の瀬 井上 達生様 (故 俊則様)
- ・岩屋地区 下鶴 井上 光弘様 (故 麻里子様)
- ・鼓北区 鶴 和田 満行様 (故 敏江様)

故人となられました方々のご冥福をお祈りいたします。

◎一般寄付

- ・上下組仏教婦人会様
- ・福岡県立光陽高校様
- ・光陽高校の生徒の皆さんから、寄付金と一緒に満開に開花した色とりどりの花を届けていただきました。

この寄付金は、村内の社会福祉事業のため大切に活用させていただきます。

◎災害ボランティアセンターへの支援金

・朝倉市商工会女性部様
朝倉市商工会女性部の皆さんから、令和5年7月の豪雨災害で被災者支援のために設置した、東峰村災害ボランティアセンターへ活動支援金をいただきました。ありがとうございます。



赤い羽根共同募金運動

昨年10月から12月までの3ヶ月間、赤い羽根共同募金運動にご協力いただきありがとうございます。戸別募金の取りまとめにおきましては、各区長をはじめ連絡員の方々に迷惑をおかけしました。ありがとうございます。令和5年7月の豪雨災害で東峰村は甚大な被害を受け、このような厳しい中にもかかわらず、募金に協力いただきました住民の皆様、企業・事業所の皆さま、本当にありがとうございます。

また、今年度も東峰学園の児童生徒の皆さん方にも募金の協力を行っていただきましたので、12月22日の終業式に東峰学園へ訪問し、集められた募金をいただきました。たくさんのご協力ありがとうございました。



「心配ごと相談所」の開設について

住民の方々が抱える困りごとや日常生活上の様々な悩みごとについての相談、また身近な暮らしの中で国の行政機関に関する苦情の相談などその他心配ごとのある方は、遠慮なくご相談ください。相談にのじられる方々は、民生委員児童委員・人権擁護委員・行政相談員の方々です。また、司法書士の方にも相談に応じていただけます。相談は無料で秘密は固く守られます。詳しい開催内容につきましては、東峰テレビでお知らせいたします。

相談日	場所	相談時間
3月13日	喜楽来館	10時～正午

『令和6年能登半島地震災害義援金』募集

- 趣旨
令和6年1月1日に発生した能登地方を震源とする地震により、北陸地方を中心に人的及び家屋への甚大な被害が発生し、複数の市町村に災害救助法が適用されました。中央共同募金会では、被災された方々を支援することを目的に次のとおり義援金の募集を実施いたします。
- 義援金の名称
令和6年能登半島地震災害義援金
- 受付期間
令和6年1月5日(金)から令和6年6月28日(金)まで
(※被災県の状況に応じて、期間を延長する場合があります。)
- 義援金受入れ口座

金融機関	支店名	口座番号	口座名義
三井住友銀行	東京公務部	普通預金 0162530	ふく ちゅうおうきょうどうほきんかい (福) 中央共同募金会
りそな銀行	東京公務部	普通預金 0126815	ふく ちゅうおうきょうどうほきんかい (福) 中央共同募金会



この広報誌は共同募金の配分金を受けて発行しています。

ミニシルバー人材センター会員募集

～あなたの豊富な経験や知識、技能をいかしませんか～

東峰村ミニシルバー人材センターでは、村内に居住する健康で働く意欲のある、おおむね60歳以上の方を対象に会員を募集します。豊富な経験や知識をいかし、生きがいづくりや仲間づくり、地域社会の活性化に貢献してみませんか。

◆会員になるには
東峰村にお住まいで、おおむね60歳以上の健康で働く意欲のある方。(入会時に年会費千円が必要です)

◆仕事の内容について
地域の家庭や、企業、公共団体などから依頼された仕事をセンターが請負、会員の方へ依頼します。

会員は、引き受けた仕事を完成または遂行し、その仕事の内容によって配分金を受け取ります。主に、草刈り作業や庭周りの除草作業を行っています。

◆お問い合わせ

東峰村ミニシルバー人材センター
(事務局・東峰村社会福祉協議会)
電話 74-2012



高齢者大学日帰り研修

令和5年11月14日(火)に高齢者大学の視察研修を開催しました。
今回は熊本県の阿蘇神社と大野勝彦美術館に行ってきました。

阿蘇神社は、古くから肥後一の宮として崇敬され、境内正面に楼門と、その左右の神幸門と還御門を構え、その後方に一の神殿と二の神殿及び三の神殿が建って、左右対称の境内を構成しています。7年前の熊本地震で、「拝殿」や神社のシンボル「楼門」が倒壊するなど大きな被害を受け、復旧工事が続いています。

大野勝彦美術館は、阿蘇の大自然に囲まれて立つ美術館です。45歳まで一度も作品を作ったことがなかったハウス園芸農家の大野勝彦さんが、農作業中の事故で両手を切断し、生への思いを詩に託したことをきっかけに、義手でイラストと詩を描き始められました。そして、それらを展示する美術館を作りたいという夢を実現させたのがこの美術館になります。当日は館長である大野さんから、直接話を聞くこともできました。



東峰村老人クラブ連合会活動報告

令和5年11月21日(火)に春日市のクローバープラザで、福岡県老人クラブ連合会の「女性リーダー研修会」が開催されました。この研修会は、女性の社会参画、男女共同のクラブづくりなど女性部の活動推進のため毎年開催されています。当日は、東峰村老連より女性部長3名の方々が出席されました。

午前中は、三野原病院 院長 二野原元澄さんより「認知症を理解し備えよう」という演題で、ギターの弾き語りを交えながらの講演でした。午後からは、大野城市シニアクラブ及び朝倉市シニアクラブのそれぞれの女性部より活動報告がありました。



令和5年11月28日(火)に筑前町で、「朝倉郡老人クラブ連合会役員研修」を開催しました。朝倉郡老人クラブ連合会では年2回(6月11月)研修会を開催し、6月は総会及び研修会、11月は本部役員の方々の交流を目的に、グラウンドゴルフ大会を開催しています。



安の里公園でグラウンドゴルフを行いました。で、終わったあとは同会場に作られています「巨大わらかかし」わらの大仏を見学し、そのあとは小郡市にある「如意輪寺」(かえる寺)を参拝しました。役員同士の会話も弾み、有意義な研修となりました。

東峰村戦没者遺族会活動

令和5年11月20日(月)に福岡市民会館(福岡市)で、第70回記念福岡県戦没者遺族大会が開催されました。

東峰村より遺族会本部役員6名の方々が出席されました。大会では、永年にわたり戦没者遺族の援護事業に携わり、社会福祉の増進に寄与された方々への感謝状の贈呈や、元大牟田市遺族連合会会長で福岡県遺族連合会理事の福田静子さんより意見発表などがありました。



令和5年11月27日(月)に「東峰村遺族会会員日帰り研修」を開催しました。今回遺族会として初めての取り組みでしたが、会員20名の方々が参加されました。研修先として、長崎県佐世保市の「浦頭引揚記念資料館」と「佐世保資料館」に行ってきました。日頃なかなか顔を合わせられる機会も少ないので、会員同士の親睦も深まりました。



福岡県身体障害者協会

グラウンドゴルフ大会

令和5年11月23日(木)に福岡県営春日公園球技場で開催されました。

朝倉郡身体障害者福祉協会として、筑前町身障協の方々と10名で参加しました。

東峰村身体障害者協会では、福岡県身障協主催のグラウンドゴルフ大会や、フライングディスク大会への参加、また会員の親睦を兼ねた日帰り研修などを行っています。随時会員を募集していますので、加入希望の方はご連絡下さい。



健康運動教室

令和5年12月7日(木)に福寿会で健康運動教室を開催しました。

今年度はロコモティブシンドローム(ロコモ)をテーマに、原鶴温泉病院の理学療法士の方々にお願いいただき、講義とロコモ度テストを実施しています。ロコモティブシンドロームとは加齢に伴い「立つ」「歩く」といった機能(移動機能)が低下している状態のことをいいます。

立ち上がり検査などで、参加者各自のロコモ度測定を行っています。



シルバーッキング教室

令和5年11月30日(木)に長生会、12月14日(木)に大原会でシルバーッキング教室を開催しました。

今年度のテーマは、健康運動教室と合わせ「ロコモティブシンドローム予防のための食事」と題し、管理栄養士の床嶋先生からの講義。

また、今年度より調理実習も再開しましたので、調理のあとは参加者の皆さんで、会話も交え楽しく会食を行っています。



熊本県球磨村社会福祉協議会視察受入れ

令和5年12月4日(月)に球磨村社協の方々が、東峰村社協の被災者支援や、地域福祉活動の取り組みについて視察に来られました。

球磨村は令和2年7月の豪雨災害で、村内全域が甚大な被害を受け、約500件の住宅が被災し、25名の方がお亡くなりになりました。

また、被災により被災前から約60名が村外へ転出され、少子高齢化が急速に進んでいるとのことでした。球磨村社協の地域福祉活動も聞け、大変参考になる研修となりました。



熊本県西原村民生委員児童委員視察受入れ

令和5年12月6日(水)に西原村民生委員児童委員協議会の方々が、災害時及びこれまでの東峰村民生委員児童委員の活動や、日頃の活動の取り組みなどについて東峰村に視察に来られました。

また、社会福祉協議会の地域福祉活動についてもお話を聞きたいとのことでしたので、買い物支援などの取り組みや、災害ボランティアセンターの活動報告などをお話させていただきました。東峰村民生委員児童委員の方々12名も全員出席され、両児協の情報交換も行われるなど有意義な研修となりました。



歳末たすけあい事業

誰もが安心して新しい年を迎えられるよう、「歳末たすけあい事業」として、70歳以上の人暮らし高齢者の方々に、おそばをお届けしました。

また今年も、一人暮らしの方々を対象としたバスハイクを中止としましたので、昨年と同じく東日本大震災からの復興支援として、東北共同事業開発が企画された、「おうちで東北」の味覚を味わっていただける商品セットを、民生委員児童委員の方々の協力をいただき、96名の対象者の方々へお届けいたしました。

